

# コロナ禍での障がい者の生活と、ボランティアの葛藤と模索

北区の障がい者関係ボランティア 井階 弥可

## ■ 自己紹介・活動紹介

- ボラ歴は名古屋に転居後 25 年目
- 所属は「点訳ボランティア北コスモス会」と「ここに寄り添うボランティア “かけはし、”」  
(他、町内会や PTA 活動も私の土台)
- 13 年前から北区社協の地域福祉サポーターに  
★この頃からグループの活動にとどまらず、障がいの分野を軸に  
“つなぐ活動”と“地域づくり”に力を入れてきました！  
『メンタルネットきた』 『北区自立支援連絡協議会防災地域づくり部会』  
『ふくちゃんきたちボランティア委員会』の活動など (資料参照)

## ■ コロナ禍の障がいのある方々の生活への影響は?!ーボランティアの関わりは?!

(※あくまで、私が活動で知り合った当事者やご家族を通じての情報です)

- 【視覚】◦ 障がい特性で、触ったり、接触を余儀なくされるガイドが必要 ← コロナ対策では×
- 「要・急」な用件でもヘルパーさんに頼むのは互いに不安

「頼んで断られるケース・不安で断るケース」  
「外出はステイホーム自粛で制約が加わるケースも」

- ボラは余暇支援（不要・不急）がほとんど → ニーズほとんど無し！

- 【聴覚】◦ みんながマスクを着用 → 口の動きが読みとれない  
話しかけられているかどうかにも気付けない  
でもかえってこのコロナ禍で透明マスク・フェイスシールドが広まった  
当事者の声がすばやく届き、知事などの会見の通訳には早期から導入  
◦ 今は手話通訳の依頼は資格のある手話通訳者の派遣で

ただのボラはそもそも生活支援にはほとんど入っていない！

- 【肢体】◦ 家事援助や身体介助が必要な方も今は主にヘルパーさんが支援  
→ 接触が余儀なくされるが、命にかかわるのでヘルパーさんに断られるようなことは  
なかったとのこと

- ボラの関わりは主に余暇（不要・不急）の場面 → ニーズほとんど無し！

- 【知的】◦ 自粛生活を要請されていることの意味が理解できない方  
→ スケジュールの変更にとまどい

- マスクが着けられない方 ← 批判や非難の目  
◦ 生活や移動の支援は職員さんやヘルパーさん

ボラの関わりは主に余暇（不要・不急）の場面 → ニーズほとんど無し！

【精神】。コロナについての不安や動揺は人それぞれのようにだったが、

ソーシャルディスタンス（人との距離をとること）や  
ステイホーム（引きこもりがちに生活すること）や  
度々手を洗う（一日に何度でも手を洗うこと）などが

誰にも求められる状況になっていることで気持ちが楽になったという方の話も。

- 。自殺報道に動揺する方が多い ← これからが心配
- 。家事援助などはヘルパーさん

**ボラ**は当事者の健康な部分をより拡げていくように余暇や当事者活動などへの関わり  
→ そういう機会がなくなった！

【障がい関係事業所・病院デイケア】

- 。北区では（私の知る限り）緊急事態宣言下でも活動は継続されていた（いつも通りの生活  
ができるだけ維持された）
- 。でも、感染者を出さないよう、クラスターを発生させないよう、外部との接触をストップ

→ **ボラ**は入れてもらえない！

## ■ ボランティアの葛藤と模索

- 。福祉サービスがそれなりに整ってきている昨今、障がいのある方々の生活の支援は  
自分でできることは自分で  
できないところは家族やヘルパーさんに  
+αの部分、余暇の部分でボランティアが ← 不要・不急！

- 。 “つなぐ活動”、“地域づくりの活動”も、

理解し合えるようつながりの場や交流の機会をつくる

啓発の活動

が、主な活動の形

→ 「集まるな！」と言われるのはその活動の形を否定されること

「不要」とは決して思わないが、「急」か？と言われたら…「不急」ではあるだろう

「自分のやってきたことは別に無くても良いようなものだったのか…？」

「拠点なく、資格なく、活動の場もない…」

「このコロナ禍で困っている人たちは確実に出ているのにボランティアの私には何もできない  
のだろうか？」

もどかしさ 無力感 葛藤 … 自問自答 … そして、模索

☆ 「集まる」は難しくとも、こんな時だからこそ一層「つながり」が必要だ！

→ 今できる形でやれることをやる!! ゼロにはしない!!

☆ 人が豊かに生きるには、「不要不急」が大いに必要！

☆ 福祉サービスやヘルパーさんは確かに多くの障がいのある方々の生活を支えてはいるけれど…  
ヘルパーさんは不足しているし、活動の内容にも時間にもいっぱい制限や制約がある

にもかかわらず「ヘルパーさんがいるから大丈夫よね」と周りの人は無関心を強めていく現実

→ 「生活支援のボランティア」という形ではなく、地域ご近所なかまのボランタリーな見守り  
や支援を再構築する必要性はとても大きい！



## 北区自立支援連絡協議会 精神部会

### 北区精神保健福祉ネットワーク「メンタルネットきた」の概要について

運営事務局：北区障害者基幹相談支援センター／楠メンタルホスピタル  
「北メンタル・クリニック」

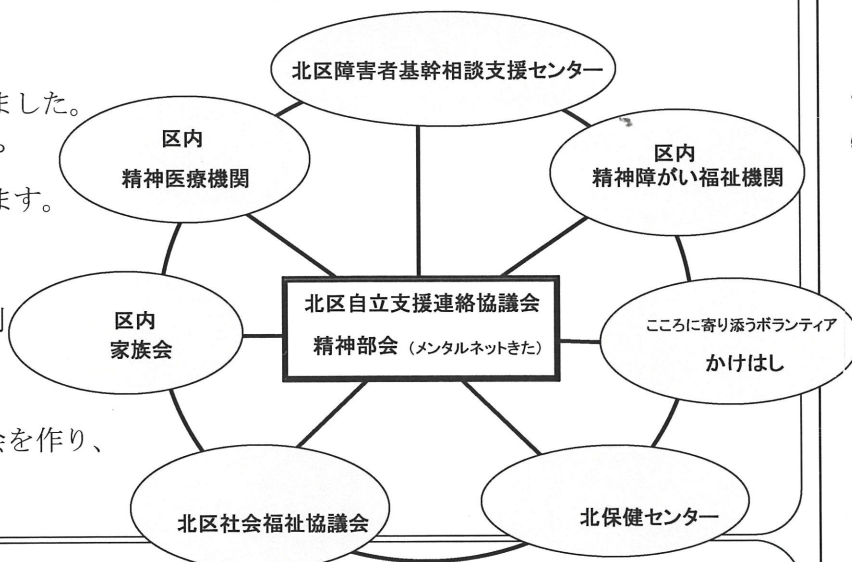
2020. 3月修正

#### 1. 北区精神保健福祉ネットワーク「メンタルネットきた」とは（各事業所詳細は裏面を参照ください）

北区精神保健福祉ネットワーク「メンタルネットきた」は、区内の精神医療・保健・福祉の機関が中心となり、ネットワークを生かしながらこの地域に住む「誰もがこころ健やかにくらするまちづくり」を目指して2007年12月に設立されました。

具体的な活動として以下のことを目指してやってきました。

- ① 地域に住む人の心の健康についての身近な相談や生活のサポート体制の連携をよりすすめていきます。
- ② こころに病気や障害をもっている地域の中で自分らしく当たり前のように生活できるような支援体制の整備をすすめていきます。
- ③ 心の健康に関する正しい知識の普及や交流の機会を作り、住民の方々の理解や支援者づくりを目指します。



#### 2. 「これまでの活動」と設立にむけた「あゆみ」

本ネットワーク設立までのこれまでの経過について  
'04年5月～

##### 北区精神障害者地域生活支援センター 設立実行委員会

- ・北区地域福祉講演会
- ・北区こころの健康講座（全5回）
- ・当事者活動「虹色音楽隊」演奏活動

こうした活動の拠点となるための「地域生活支援センター」づくりをめざしました。その願いが結実し、平成18年10月より「北・西区障害者地域生活支援センター」（名古屋市への委託事業）として運営を実施していました。

'05年10月～

##### 北区精神保健福祉ネットワーク 設立準備委員会

- ・北区精神保健福祉ボランティア講座（第1回～第3回・その後も養成講座開催）
- ・ボランティアグループづくり支援

活動の支援者づくりを目指して、2005年より毎年合計3回「北区精神保健福祉ボランティア講座」を開催しました。その活動の中から北区精神保健福祉ボランティア「かけはし」が誕生し、現在も精力的に活動をしています。

'07年12月～

##### 北区精神保健福祉ネットワーク 「メンタルネットきた」

- ・北区こころの健康講座
- ・北区「地域自立支援連絡協議会」精神部会（'09年12月～）

正式にネットワークが結成され、活動をはじめました。北区地域自立支援連絡協議会の精神部会としての位置づけられ、だれもがこころ健やかにくらするまちづくり活動を展開することを目指して活動してきました。

'14年4月～

障害者（児）とその家族の方の地域における生活を支援するため、様々な相談に応じる身近な相談窓口として  
各区に「障害者基幹相談支援センター」開設

現在では、自立支援連絡協議会精神部会として、北保健所・北区社会福祉協議会・北区基幹相談支援センター・楠メンタルホスピタル・就労継続支援B型どんぐりの家・就労継続支援B型あるく・北医療生活協同組合北メンタルクリニック・家族会（北地域家族会どんぐり会・カトレヤ会）・地域活動支援センター（サポートセンターなないろ／ピアセンターなないろ）北区精神保健福祉ボランティアグループかけはし等の北区の精神・医療福祉関係が集まり活動しています。

#### 3. これまでの取り組みと昨年度の活動紹介（定例会：偶数月／第2水曜日）

16年の活動を通して、同じ北区の地域で活動するもの同士、この「ネットワーク」があることの良さが、運営メンバーの中に確立されてきました。大きく分けて①機関を超えた情報共有ができる場②当事者を支える場（機関内・機関外ともに）③学びあう場、の3つの場になります。一機関だけではやれない・やりにくいことも、ネットワークがあるからこそ出来ることも増え、活動の幅を広げることができています。

第7回からは北区講堂で音楽祭を行っています。



虹色音楽隊演奏

ここに寄り添うボランティアグループ

「かけはし」例会



ポスター案も応募で決めています！！



#### ～2019年度の活動～

##### ①当事者同士の支え合いを支える活動（今までの活動の積み重ねによって発展してきている活動の継続＋α）

- ・関係機関当事者が中心となり企画＆運営実施の合同音楽祭

⇒昨年度の第10回を区切りで終了案でもでしたが、来場者・参加者・演奏者からの強い要望もあり、例年通り北区講堂にて継続開催として実施。新たな企画として、「笑顔のおすそわけコーナー」を展開。企画運営会議には、他障がい団体からの参加もあり、三障がいが集える音楽会として、年々広がりを持ちながら音楽祭を創っています。

- ・当事者同士のつながりの場づくり

「当事者が語りあえる会」開催（6月）／3月開催予定も新型コロナウイルス感染拡大予防のため延期）多くの方が参加しやすいよう、参加費用負担を抑えたり、開催場所も来場しやすいよう選定しています。

- ・2017年11月～スタート（奇数月／第4土曜午後）している、精神保健福祉ボランティアグループ「かけはし」による「学び集える場」継続中。当事者・家族・ボランティア・支援者・地域の方等々敷居を越えた交流の場となっています。



##### ②福祉フェスティバルや自立支援連絡協議会を利用した広がりある活動→他分野ボランティアグループや他障害とのつながりあい

- ・プチサロン（北区社協窓口）参加・自立支援連絡協議会の他部会へ参加や協力

- ・民生委員向け出前講座3学区開催。地域支えあい事業・ご近所ボランティア研修との協同開催という形でも実施する学区もありました。
- ・一般市民向け講座「北区こころの健康講座／発達凸凹があっても大丈夫！～私らしく輝く“活き方”～」～応援ソングライター／y u k a（ゆうか）さん」開催



##### ③所属機関内に向けても理解を深める活動

##### ④所属以外の精神障がい者に関わる事業所への情報発信

- ・メンタルネットきた通信の発行・送付（北区内精神科医療機関5か所への懇談会を実施後、通信の送付）

##### ⑤運営メンバーへの研修事業 幹事会時は、事例検討や気になる事案等、北区の課題を模索する機会となっている

#### 4. 今年度の活動予定～今までのつながりと共に更なるつながりを大切にしながら、次への進歩を目指して～

活動を始めてから16年目を迎えた2020年。今までの積み重ねを活かしながらも、常に活性化することを忘れず進化が出来るよう、運営メンバーの意識を確認しながら次のことを目標にしています。運営メンバーが担当グループを持ち、それぞれが持ち寄った案をさらに幹事会で持ち寄り、検討を重ねながら今年度も活動をしていきます。

##### ①当事者同士の支え合いを支える活動

- ・今までの活動の積み重ねによって発展してきている活動の継続。北区に生まれた当事者団体への応援＆支援

##### ②障害に対する理解促進を図るための普及啓発等の事業開催（自立支援連絡協議会とも連携しながら）

- ・支援につながっていない当事者・家族に届く支援とは何かを視野に置き、模索しながら今までのつながりや関わりを更に深めていく
- ・一般市民に向けたこころの健康に関する理解や知識を深める活動

##### ③医療・福祉及び地域の社会基盤との連携強化のための調整

- ・地域の支援者へ向けた出前講座の継続・活動紹介を中心とした通信の発行等

##### ④地域住民・ボランティア活動を支える活動（協働していける土壌と関係づくりの模索）

- ・地域住民・ボランティア活動を支える活動の継続をしながら、精神保健福祉、医療に関わる支援者をはじめ、地域で当事者やその家族に関わる可能性のある支援者とのつながり創りを進めていく

##### ⑤運営メンバーのスキルアップ機会の確保





# 北区自立支援連絡協議会 精神部会

## 北区精神保健福祉ネットワーク 「メンタルネットきた」とは？

2020年2月修正版

「誰もがこころ健やかに暮らせるまちづくり」を目指し、区内の精神医療・保健・福祉の機関が中心となりネットワークを活かしながら活動しています。（以下は団体構成紹介になります。）北区のまちづくり活動を一層進めるべく、さまざまな活動を重ねています。現在では北区自立支援連絡協議会の部会の一つ（精神部会）として位置づけられ、さまざまな機関とも連携しながら、ネットワーク軽い活動を目指しています。

### ～メンタルネットきた 施設紹介～ ※活動の詳細は各機関にお問い合わせください

#### 区内 医療機関

★**楠メンタルホスピタル** 北区五反田町 110 052-901-7581

専門知識と技術を生かしたチーム医療でインフォームドコンセントに基づいた患者さま中心の精神医療に取り組み続けています。日中通う精神科デイケア・デイナイトケアを実施しています。

#### ★北医療生活協同組合

★**北メンタル・クリニック** 北区上飯田北町 1-20-2 すまいるハートビル 4F 052-912-2113

こころの健康を取り戻すことができるよう、また、たとえこころに病や障害をもっていても地域の中で当たり前にくらせるように、さまざまな取り組みをしています。日中通う精神科デイケアも実施しています。

#### 区内 行政機関

#### ★北保健所 北区清水四丁目 17 番 1 号 TEL:052-917-6572

精神保健福祉相談員や保健師が、精神保健福祉に関する相談に応じます（予約優先）。

精神科医によるこころの健康相談日・うつ病家族相談日も実施しています（予約制）。



#### 区内 福祉施設

#### ★北区障害者基幹相談支援センター

北区田幡一丁目 11 番 31 号 052-910-3133



障害者（児）とその家族の方の地域における生活を支援するため、福祉サービスの利用や各種制度の活用に関することなど、様々な相談に応じる身近な相談窓口です。

#### ★就労継続支援 B 型あるく名城公園

北区柳原一丁目 14 番 22 号 チゲンビル 1F 052-918-8788



作業内容：  
古本委託販売等

障がいを持つ方に様々な教育訓練を提供しつつ、実際の業務を通じて社会の中で十分に役割を担えることを示し、就労、自立を促していく社会事業（古本販売等）を行っています。

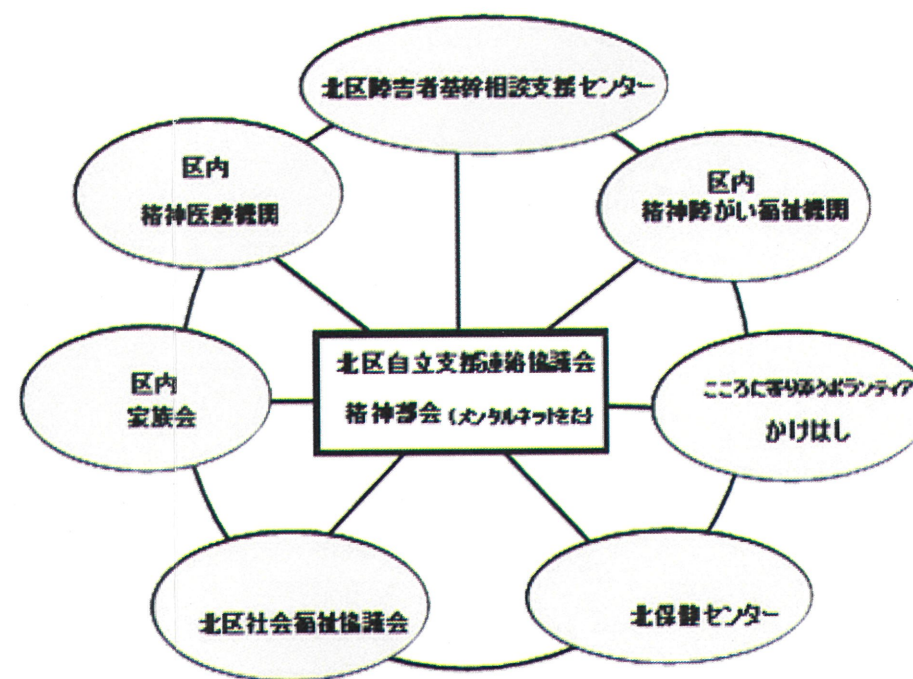
#### ★就労継続支援 B 型どんぐりの家

北区駒止町 1-121 サン駒止ビル 102 号 052-917-5580



作業内容：  
革・和紙・布等の自主製品づくり等

精神障がいをもつ人たちの「憩い場」、「仲間や地域の人々との交流の場」、そして「将来働くための自信をつける場」として利用されています。



#### ★北区社会福祉協議会

北区清水 4 丁目 1 7 ー 1 北区在宅サービスセンター内

（北区役所 1 階）TEL：052-915-7435

本会は、地域住民のみなさんや、福祉、保健、医療関係者、ボランティア、行政機関等の協力を得ながら、

子どもから高齢者までの様々な福祉の問題の解決を通して、“誰もが健康で安心して暮らし続けられるまちづくり”を目指して活動しています。



#### ボランティアグループ

#### ♡ こころに寄り添うボランティア ♡

北区精神保健福祉ボランティアグループ

### “かけはし”

定例会 毎月第 4 水曜日

13：30～15：30

北区社協ボラールームにて

お問い合わせ 北区社協(915-7435)まで



#### ★名古屋市中精神障がい者

家族連合会

～家族による家族相談～

☎052-842-8878

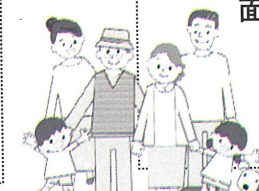
#### 電話相談日

毎週火曜日・土曜日

午前 10 時～午後 3 時

面会相談日：毎週 木曜日

午前 10 時～午後 3 時



#### 家族会

#### ★家族会 カトレヤ会

北区上飯田南町 2 丁目 14-1 / 上飯田南町 3 丁目 1

TEL052-910-8077（サポートセンターなないろ内）

活動内容：家族会が中心となり、なないろ 1 階にてお店を開いています。地域の方や市内の作業所の手作り作品等を取り扱っています。「こころの健康」に関する情報や、講座案内などもお知らせしております。まずはお気軽に足を運んでください。

毎月第 1 水曜日：定例会・学習会

（場所：北メンタル・クリニックデイケア内）

月・火・木・金にて、なないろにて活動。

活動場所：こころとくらしのサポートセンターなないろ



#### ★多機能型就労支援

#### ライフステーション・あいち

北区柳原町 4-2-2 中杉ビル 2 階 / 052-912-2311

主に精神に障がいを持つ方が、社会に出る前の訓練の場所・地域とつながる接点となる場所として通っています。それぞれの個性に合った生き方を一緒に模索していきます。

（就労移行支援・継続支援 B 型）

作業内容：内職・カフェ

農業・PC 訓練

エプロンたたみ



#### ★地域活動支援センター

#### 「ピアセンターなないろ」

北区上飯田南町 2 丁目 14 / 1052-910-8077

1 階のフロアでは、センター利用者・家族の立場の方々・地域の方々の協働によるお店を運営しています。



店舗内容：リサイクル品販売・朝市野菜・パン販売・パッチワーク製品・喫茶コーナー等





北区自立支援連絡協議会 防災地域づくり部会 令和元年度活動報告

防災地域づくり部会とは…

防災と災害時要配慮者の視点を切り口に、誰もが安心して暮らしていける地域づくりをどのように進めていけばよいか？をテーマとし、実践もまじえながら検討していこうという部会。

継続的な活動の柱は…

- ・各障がいの特性や必要な配慮などについて知ってもらう活動
- ・各地域や現場での、要配慮者と地域とのつながりをつくる活動に対する支援…相談やコーディネート
- ・1年に1回くらい活動を共有する報告の場や啓発の場を作る

☆令和元年度の主な活動

1. 北区内の防災訓練や避難所運営訓練に要配慮者への視点が入るように協力すると共に、より効果的な訓練となるよう内容を工夫した。
2. 要配慮者と地域とのつながりづくり・助け合いの仕組みづくりに協力した。
3. 障がい当事者と学区の方々が参加する『みんなで防災秋の避難所訓練』〔11月23日（土・祝）〕を区役所総務課と協力しながら開催した。
4. 『お助けカード』と『ヘルプカード』のセット活用を推進した。

（具体的な活動実績）

◎訓練や研修への参加やお手伝い

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 金城学区の防災訓練に参加・協力 【5/19】<br>＊災害時要配慮者移動支援訓練（視覚障がい者からのアピールと避難誘導訓練）を実施。                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 下見【5/17】       |
| 水防訓練に参加・協力 【5/26】<br>＊参加の名北学区の方々に、聴覚障がい当事者からのアピールと支援訓練を実施。                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                |
| 宮前学区の防災訓練に参加・協力 【6/2】<br>＊災害時要配慮者支援訓練（車イス利用者と視覚障がい者からのアピールと避難誘導訓練）を実施。                                                                                                                                                                                                                                                                             | 下見・打ち合わせ【5/27】 |
| 名北学区の避難所運営訓練に参加・協力 【6/23】<br>＊福祉避難スペースについての話 及び ダンボールベッド作成と車イス利用者の移乗支援訓練を実施。                                                                                                                                                                                                                                                                       |                |
| 金城学区女性会の防災をテーマとした連続講座（第2講座）への参加・協力 【7/16】<br>打ち合わせ【5/10, 15, 7/3】第1講座参加【6/19】<br>＊名古屋きた災害ボランティアネットワークと協力し、講座『まずは自助、そして共助へ！』を実施。<br>視覚障がい者へのガイドヘルプ体験も行う                                                                                                                                                                                             |                |
| 西味簀学区の“避難行動計画”、“e-マップづくり”の取り組みに参加・協力 【8/18,21】<br>＊ワークショップ・まちあるき・振り返りの会に参加。取り組みに要配慮者の視点が入るよう協力。                                                                                                                                                                                                                                                    |                |
| 北区総合防災訓練打ち合わせ会に出席 【7/4, 8/8】<br>北区総合防災訓練(北陵中)にて①災害時要配慮者避難援助訓練(20分×2種類)と②災害時要配慮者生活支援講習(50分)を担当 【9/1】<br>＊北陵中3年生と東志賀・辻・城北学区の方々に、①視覚障がい当事者・車イス利用者からのアピールとアイマスクを利用したガイドヘルプ体験及び車イスの階段上げ下ろし体験、②知的障がい当事者・家族・聴覚障がい当事者・精神障がい者の支援者からのアピール及び手話・書いて伝える体験を実施。<br>＊北陵中学校区内の「めいほく鳩岡の家」をはじめ区内の多くの障がい当事者が総合防災訓練に参加。<br>＊昨年度からの要望により、障がい当事者が参加できる訓練が創設され、障がい別に参加が実現。 | 北陵中下見 【8/20】   |

|                                                                                                   |             |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|
| 志賀中学校防災講演会（全校生徒対象）『もしもの時に中学生の力を！』を企画 及び 講師として協力 【9/2】<br>＊講演会后 PTA から取材あり。12月発行の志賀中広報の1面に特集記事が掲載。 | 打ち合わせ【8/23】 |
| 川中学区の“避難行動計画”、“e-マップづくり”の取り組みに参加・協力 【9/8】<br>＊ワークショップ・まちあるきに参加。取り組みに要配慮者の視点が入るよう協力。               |             |
| 名北学区の防災訓練に参加・協力 【10/27】<br>＊災害時要配慮者移動支援訓練（車イス利用者からのアピールと避難誘導訓練）を実施。                               | 下見【10/8】    |
| 総務課主催の避難所運営リーダー養成講習会に参加・協力 【11/2】<br>＊『災害時要配慮者対応講話～災害時要配慮者の避難所での心身の健康維持』を担当。                      | 打合せ【10/17】  |
| 東志賀学区防災訓練に参加・協力 【11/10】<br>＊災害時要配慮者移動支援訓練（車イス利用者からのアピールと避難誘導訓練）を実施。                               | 下見【10/8】    |
| 大杉学区避難所運営訓練に参加・協力 【11/24】<br>＊ダンボールベッド作成と車イス利用者の移乗支援訓練を実施。                                        |             |
| 味簀学区役員の防災研修会に参加・協力 【11/29】<br>＊避難所における要配慮者対策の必要性についてアピール。                                         |             |
| 北区災害ボランティアセンター立ち上げ訓練に参加・協力 【2/11】<br>＊災害ボラセンについて体験的に学ぶとともに訓練において要配慮者の立場からニーズを伝える。                 |             |

◎障がい当事者と在住地域のつながりづくり

|                                                                                     |
|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 金城学区在住の視覚障がい当事者夫妻と町内会とのつながり構築のため、町内会の会議でアピールし、防災訓練にも町内会の方々と一緒に参加してもらう 【4/17】        |
| 金城学区在住の車いす利用者の方を町内会長や町内の民生委員とつなげ、防災訓練にも町内会の方々と一緒に参加してもらう。また、学区推進協主催のサロンにもつなぐ 【4/27】 |
| 金城学区在住の一人暮らし高齢の視覚障がい当事者を町内会長や町内の民生委員とつなぎ定期的な訪問や見守りを依頼する。 【6/20】                     |

◎『お助けカード』と『ヘルプカード』のセット活用についての広報や啓発

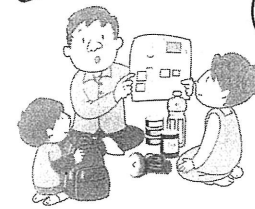
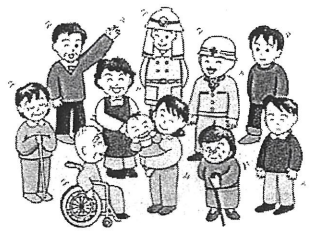
総合防災訓練や各学区での訓練 及び 『みんなで防災秋の避難所訓練』や事業所部会の防災研修会など、防災関連の企画や機会をとらえて広報を進めた

◎北区自立支援連絡協議会として

|                                                                                                                                                    |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 幹事会 【4/25, 6/6, 8/9, 9/24, 10/21, 11/13, 12/13, 1/29, (3/6 自粛により中止)】<br>【10/19】『あいち・なごや防災フェスタ、ぼうさいこくたい2019』（ささしまライブエリア）見学研修                        |
| みんなで防災避難所訓練の実施 【11/23】 協力者合同打ち合わせ【11/13】 前日準備【11/22】<br>＊地域支えあい事業のボランティアや学区の方々と障がい当事者の方々による避難所訓練を実施。避難所で心身の健康を維持していくヒントを学ぶ。愛知学院大学生消防団とも連携。 149名の参加 |
| 南区の『伊勢湾台風60周年市民防災のつどい』（大同大キャンパス）見学・参加 【9/7】<br>＊日本の避難所の現状について学ぶと共に要配慮者防災座談会に参加                                                                     |
| 自立支援連絡協議会事業所部会の防災テーマの研修会に参加・協力 【12/19】<br>＊事業所利用者やその家族に部会からの情報をつなげてもらえるよう依頼するとともにお助けカードとヘルプカードの活用についてアピール                                          |



# みんなで防災避難所訓練!!



秋の

こんにちは！

私たち『北区自立支援連絡協議会 防災地域づくり部会』は、今年度も、北区役所講堂を避難所に見立てた『みんなで防災 避難所訓練!!』を下記のように企画しました。

今年度は、地域支えあい事業のボランティアさんたちや学区で避難所運営に関わる皆さんと共に防災・避難所訓練をすることで、

- ① 避難所で心身の健康を維持していくヒントを学び
- ② 要配慮者の方々は自ら SOS を出すことや自分にも協力できることを体験し、ボランティアや学区で避難所運営に関わる方々は SOS を受けとめ援助することを体験し、
- ③ それぞれが気づきを得て、もしもの時に生かせるように

と考えています。

みなさまお誘い合わせの上、どうぞご参加ください。

## プログラム

### 1. 避難所の受付を体験しよう！

『お助けカード』や『ヘルプカード』はお持ちですか?!  
今回は、地域支えあい事業のボランティアの方々に対応していただきます。

### 2. 災害時のトイレ事情！

災害時のトイレは大問題！今あるトイレの活用法・災害時用に配備されるトイレ・マイトイレなど、トイレについてじっくり考え、実物の座りごごち(?)も確認していきます。

### 3. 避難所で心身を健康に維持していくために！

避難生活では心や身体の健康を保つことも大切です。エコノミークラス症候群の予防の方法や避難生活者同士がうまくコミュニケーションをとれる工夫を学びます。

### 4. 食料配給体験！

防災食と言えばアルファ化米！～でもそのお味や食感は？  
何種類かのアルファ化米をみんなで食べ比べてみます。

### 5. 体験・気づきの共有をしよう！

南区自立支援連絡協議会要配慮者の防災を考える会主催の『障害のある人もない人もみんな防災避難所体験訓練!!』(南区役所講堂)に参加・研修 【2/11】

北区長からの依頼を受け「災害時支援用バンダナ」について検討 【1/29】

拡大プチサロンの活動発表交流会で、部会の活動について紹介 【3/25】⇒自粛により延期  
\*避難所訓練について報告とアピール。

北区自立支援連絡協議会事務局会議 【4/17, 6/19, 8/22, 10/16, 12/20, 2/27】に出席  
全体会 3/27⇒自粛により延期

◎名古屋市防災表彰市長表彰受賞！ 表彰式【10/19】 祝会【1/17】

## ☆来年度の活動について

部会活動の柱を継続しつつ今年度の活動の成果をふまえ、とくに

1. 北区内の防災訓練や避難所運営訓練に要配慮者への視点が入るように協力すると共に、より効果的な訓練となるよう内容を工夫していく。
2. 北区在住の要配慮者と部会との新たなつながりを開拓していく。
3. 障がい当事者と学区の方々が参加する『みんなで防災冬の避難所訓練』(2月23日(火・祝)北区役所講堂にて予定)を区役所総務課と協力しながら開催する。
4. 『お助けカード』と『ヘルプカード』のセット活用を推進していく。





楽しいおしゃべり♪ 素敵な出会い♪

高齢者から子どもまで、そして障がいがある人もない人もボランティアも。  
“プチサロンふくちゃんきたちゃん”は、北区のみんなが楽しく交流し、つながる場！

2019年度  
第4回！

## 拡大プチサロン

# ふくちゃん・きたちゃん

～ ふ く し が き た ! ～

“ふくし”を考えるきっかけやボランティアに踏み出すきっかけも  
きっといっぱい見つかるはずです・・・



日時：令和2年 3月25日（水）11時～15時

場所：北区役所 講堂

- 自由におしゃべり（飲食OK）
- ボランティア紹介＆相談
- 展示 ・ フレンドリークラブ全会場作品展  
（ほっこりするもの集めました♪）

- ミニ教室 『布の手作りくるみブローチ』（陽だまりサロンなかぎり）11時～12時45分
- 福祉の店（詳しくは裏面）
- ★ 活動発表交流会 1. 北区で活動するボランティア・NPO・福祉団体などのプレゼン  
13時～ 2. 歌声演芸サロン 14時40分ごろ～

「プチサロンの応援ソング」をみんなで歌おう♪

どなたでもどうぞ！  
みんなできてね～♪  
ご来場の際は、公共交通機関を  
ご利用下さい！

この日は会場全体がふくちゃん・きたちゃんスペースです！

集めるだけでボランティアやってます！

使用済切手・書き損じはがき・古本・ペットボトルキャップ当日少しでも持ってきて下さいね～♪

### ★飲み物 コーナー

売り上げは、福祉基金  
に寄付していきます。

コーヒー  
100円

オレンジジュース  
50円

あなたも  
飲むだけで  
ボランティア!!

### ★ふくきたマーケット

一品100円での遊休品販売

売り上げは共同募金に寄付していきます！  
この共同募金は北区の障がい者支援の資金と  
して使われます

主催：ふくちゃんきたちゃんボランティア委員会 共催：北区役所  
（問合せ）名古屋市北区社会福祉協議会（北区在宅サービスセンター内）電話：915-7435 FAX：915-2640

## 3月25日参加の福祉の店は

### ★めいほく共同作業所

☎ 916-4470

ベーコン チーズ 280円  
ベーコン エビ 250円



障がいのある仲間たちが働きながら社会参加することをめざし、天然酵母と国産小麦を使用し安全・安心で美味しい商品づくりを心掛けてきました！

### ★わっぱん

☎ 915-9672

ソーネショップ (店舗) ☎ 910-1002

一番人気の  
ミニ動物パンセット  
390円



障がいのある人とない人が共に働くパン菓子工房です。国産小麦をはじめ、安全安心にこだわった材料を厳選使用しています！

### ★どんぐりの家

☎ 917-5580

革の干支根付  
350円



精神障がいをもつ人たちが住みなれた地域で自分らしく生き生きとした毎日を送ることをめざし、和紙・布・革製品などを作って活動しています！

### ★めいほく鳩岡の家

☎ 911-0055

プリン  
100円



仲間が主人公という理念のもと、利用者・家族のみなさんに安心して利用していただける施設を目指しています。はとおかのクッキーやプリンをどうぞ！

### ★ライフステーションあいち

☎ 912-2311

弁当 300円～



就労継続支援B型事業所。精神障がいの方が多く、農業・カフェ・内職など、可能性を探求しながら楽しく過ごしています！

### ★名古屋さくら事業所

☎ 508-5406

手編みのフライングディスク  
1,000円



北区にある生活介護事業所です。毎日手作りの製品を心を込めて作っています。刺し子のふきん、ゴルフのヘッドカバー、手編みのフライングディスクやサンダルなどが人気です。

これらの商品は購入後、飲食コーナーにて飲食できます。商品はこのかぎりではありません。

### ★MO-YA-CO UNIQUE PRODUCT!

☎ 508-6970

シュークリーム  
3個セット 240円



『MO-YA-CO』は名古屋弁で「分けっこ、持ち合い」を表す言葉。障がいのある人と一緒に作った【からだにやさしいおいしいおやつ】や個性あふれる雑貨を販売しています。

### ★わくわく安井の家

☎ 934-7461

シフォンケーキ  
300円



一人ひとりがイキイキと、ものづくりをしています。皆さんにワクワクした気持ちを届けたいと私達が作った手作りお菓子、是非ご賞味ください！

### ★NPO 法人フレンド愛

生活介護事業所 ぼちぼち

☎ 931-5453

ふくちゃんきたちゃんせんべい  
2枚入り 100円 8枚入り 400円



地域にあたたかく受け入れていただき生活介護事業所ぼちぼちを運営。軽作業を中心に自分の思いが出せるよう社会のルールを学びながら過ごしています。

### ★ワークスペースみるみる

☎ 938-3602

みるみート（大豆製品）  
250円～400円  
みるコン10玉入（乾燥糸コン）  
600円  
木工製品 玩具・他 150円～3,000円



様々な『生きにくさ』を抱える障害のある方達の「働く場」づくりに取り組み、仕事や余暇活動を通じて、日々人間として成長できる「働く場」をめざしています！

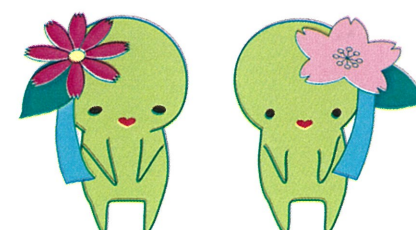
### ★就労支援B型事業所あるく名城公園

☎ 918-8788

古本販売



就労継続支援B型事業所として障がい者への就労の機会及び生産活動の機会などを提供する場を運営し各種の請負作業や古本の販売を行っています！

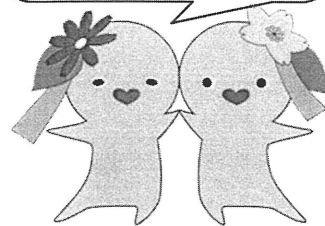




# 今年もやります！ 北区みんなで交流会

毎年恒例の『北区みんなで交流会』。

皆さんの参加を  
お待ちしております♪



## ボランティア・福祉関係者と地域団体活動者

### ～つながいの更なる一歩！～

をテーマに今年度も進めていきます。

“誰もが住みよい地域づくり”をしていくために、それぞれの立場を生かしながら協力できるつながりができるといいな…♪

そんな思いで今年度の交流会も、互いの活動を知り合い顔見知りになれるように、また、築きつつあるつながりを更なる一歩へと引き上げ深めていけるようにと考えています。

ぜひどなたでもご参加ください！

**日時** 令和2年1月30日（木）13:00～16:00（受付 12:30～）

**場所** 名古屋市総合社会福祉会館 大会議室（北区役所 7階）

**内容** ①実践報告 『川中 支えあい いきるまち ～支えあい・サロン・マルシェ～』  
の実践

（発表者 川中地域支えあい活動連絡会議、  
有償ボランティアサークル ウィズ・スマイル）

②交流 各学区に分かれ交流  
①互いの活動を知り合おう！  
②誰もが住みよい地域づくり  
～私たちの学区ではどう取り組む？～

**申し込み** 別紙申し込み書に必要事項をご記入の上、1月15日（水）までに  
北区社協までFAXまたは郵送でお申込みください。

主催 ふくちゃんきたちゃんボランティア委員会  
北区社会福祉協議会（TEL：915-7435 FAX：915-2640）



## 旬ボラに行く！

本号のテーマ「学区ごとで地域のこれからを考えよう！  
～北区みんなで交流会～」

【取材先：ふくちゃんきたちゃんボランティア委員会メンバー】

北区のボランティア団体や大学の地域連携センター、当事者施設&グループ、社会福祉協議会などで構成される委員会メンバーが、ボランティア、福祉関係者、地域団体活動者や住民のみなさんが交流する集い、『北区みんなで交流会』を開催しました。

開催日：2017年2月6日（月）13:00～16:00

会場：市総合社会福祉会館 大会議室



【ふくちゃんきたちゃんボランティア委員会メンバー】

### ●点から面につながりを広げる

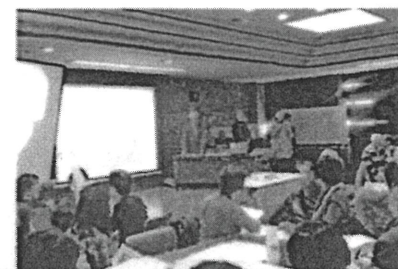
平成21年から数えて8回目の交流会。今年度のテーマは、『つながりのはじめの一歩！』。誰かと出会ってつながれば新しい顔見知りも増え、情報もシェアし合うことができます。昨年度からボランティア委員会も企画段階から主体的に関わり、学区連絡協議会、地域サロン運営団体、個人ボランティア、大学の地域連携センター、当事者施設&グループという120名を超す多彩な地域の方々に参加いただきました。

交流会参加者からは区内各地で活発な地域活動が進んでいる様子が伝わりました。こうした個々の活動（点）を互いに知らせあい、交流する中で連携の可能性を探り、活動が広く学区規模の活動（面）として発展することを目指すこの交流会の存在意義は大きいと感じました。

### ●いろんな立場の人が一つのテーブルで

交流会一部では、身近な場所に集まって気楽に交流を深め、ともに助けあう地域を築くことを目的に活動している東志賀学区の共生型サロンの実践報告がありました。このサロンは高齢者に限らず、小学生（春・夏休みの時に、参加依頼のチラシを保護者へ配布、トワイライトスクールの先生に協力依頼）や子育て中の親子、障がい者などの地域住民が参加できるサロン。参加者から質問もあり、他の学区へのサロン活動の広がりを感じました。

二部は立場の異なる方々が学区ごとのテーブルに着席し交流



【東志賀学区 共生型サロン 発表の様子】

を深めました。地域役員さんにボランティア活動の様子を知ってもらい、お互いに地域にできることなどを意見交換しながら、よりよい地域を考える異業種交流ならぬ〈異立場〉交流が活発に進みました。

### ●会場の声から

- ・これまで気付かなかった仲間の存在を知ることができました。
- ・他サロンの活動からヒントをもらえました。
- ・学生たちは社会とのつながりの中で自分を見直す機会をいただいています。
- ・地域で出会う機会の少ない世代の人と交流できました。
- ・自分たちのボランティア活動の受け入れ先情報が得られればと思って参加しました。

### ●取材を終えて

居住地の学区連絡協議会や地域福祉推進協議会の理解や協力があれば市民活動は今以上に地域で喜んでいただけると感じました。この“北区みんなで交流会”の存在意義をぜひ他のボランティア団体や学区連絡協議会などに向けて発信していただきたいと思います。



【学区ごとの話し合いの様子】

〈お問い合わせ〉

北区社会福祉協議会

TEL:052-915-7435 FAX:052-915-2640